

別表 用語の定義

用語	定義
量—反応関係	化学物質等が生体に作用した量又は濃度と、当該化学物質等にばく露された集団内で、一定の健康への影響を示す個体の割合
ばく露限界	量—反応関係等から導かれる、ほとんど全ての労働者がばく露されても健康に影響を受けないと考えられている濃度又は量の閾値
ばく露レベル	化学物質等を発散する作業場内の労働者が呼吸する空気中の化学物質等の濃度
無毒性量 (NOAEL ; No Observed Adverse Effect Level)	毒性試験において有害な影響が認められなかった最高のばく露量
最小毒性量 (LOAEL ; Lowest Observed Adverse Effect Level)	毒性試験において有害な影響が認められた最低のばく露量
無影響量 (NOEL ; No Observed Effect Level)	毒性試験において影響が認められなかった最高のばく露量
最小影響量 (LOEL ; Lowest Observed Effect Level)	毒性試験において何らかの影響が認められた最低のばく露量
半数致死量 (LD ₅₀ ; Lethal Dose 50)	1回の投与で1群の実験動物の50%を死亡させると予想される投与量
半数致死濃度 (LC ₅₀ ; Lethal Concentration 50)	短時間の吸入ばく露 (通常 1 時間から 4 時間) で 1 群の実験動物の 50% を死亡させると予想される濃度
TWA (Time-Weighted Average : 時間加重平均値)	大気中の物質濃度の時間加重平均値で、通常、労働時間が 8 時間 / 日及び 40 時間 / 週での値。作業環境中で大気中の物質濃度は一日のうちに変動し得るが、TWA は濃度とその持続時間の積の総和を総時間数で割ったもの (8 時間—TWA)
Ceiling (天井値)	作業中のどの時点においても超えてはならない値

許容濃度	労働者が 1 日 8 時間, 週間 40 時間程度、肉体的に激しくない労働強度で有害物質に曝露される場合に、当該有害物質の平均曝露濃度がこの数値以下であれば、ほとんどすべての労働者に健康上の悪い影響が見られないと判断される濃度
最大許容濃度	作業中のどの時間をとっても曝露濃度がこの数値以下であれば、ほとんどすべての労働者に健康上の悪い影響が見られないと判断される濃度
急性毒性 (acute toxicity)	化学物質の経口若しくは経皮からの単回ばく露、24 時間以内の複数回ばく露、又は 4 時間の吸入ばく露によって動物を死に至らしめる等によってヒトに対しても致死性の影響があると考えられる又は知られている性質
皮膚腐食性 (skin corrosion, dermal corrosion)	化学物質の 4 時間以内の皮膚接触で、皮膚に対して不可逆的な損傷を発生させる性質 注記 不可逆的な損傷は、皮膚組織の破壊 [表皮から真皮に至る視認可能なえ(壊)死] として認識される。
皮膚刺激性 (skin irritation, dermal irritation)	化学物質の 4 時間以内の皮膚接触で、皮膚に可逆的な損傷を発生させる性質
眼に対する重篤な損傷性 (serious eye damage)	眼の表面に対する化学物質のばく露に伴う眼の組織損傷の発生又は重篤な視力低下で、ばく露から 21 日以内に完全には治癒しないものを発生させる性質
眼刺激性 (eye irritation)	眼の表面に化学物質をばく露した後に生じた眼の変化で、ばく露から 21 日以内に完全に治癒するものを生じさせる性質。
呼吸器感作性 (respiratory sensitization)	化学物質の吸入によってアレルギー反応を引き起こす性質
皮膚感作性 (skin sensitization)	化学物質の皮膚接触によってアレルギー反応を引き起こす性質 注記 “皮膚感作性” は、“接触感作性 (contact

	sensitization) "ともいう
生殖細胞変異原性 (germ cell mutagenicity)	生殖細胞に経世代突然変異を誘発する性質
発がん性 (carcinogenicity)	がんを誘発させる性質、又はその発生率を増大させる性質
遺伝毒性 (genotoxicity)	細胞の DNA や染色体の構造や量を変化させる性質。
生殖毒性 (reproductive toxicity)	雌雄の成体の生殖機能及び受精能力に対し悪影響を及ぼす性質及び子の発生に対し悪影響を及ぼす性質